

# 新型コロナウイルス感染症大阪府検査体制整備計画【改訂第3版】<概要>

資料 2

**検査需要** ⇒ 1日当たりの検査需要：54,600件 (①÷②)

①通常検査により判明する新規陽性者数の想定 ⇒ 27,300人

◆過去の新型コロナウイルス感染症新規陽性者数の最大値（令和4年2月11日）の2倍を想定。

15,291人×2倍=約30,000人

◆うち、通常検査で判明する割合：約91%（R4.2月ピーク時実績で試算）

②想定陽性率 ⇒ 50%

◆直近5か年の1年当たりの季節性インフルエンザ検査最大実績（H29年度）における陽性率を参考に設定。

**検体採取体制** ⇒ 1日当たりの体制：56,000件 (A+B)

## 医療機関における体制

### 【方向性】

- 各医療機関の最大能力の和と同日内における最大実績に36%の差異。
- 更なる体制が必要であるため、約800施設の診療・検査医療機関の増加及び日曜祝日体制の強化を図る。

### 【取組み】

- 未指定の医療機関に対し、指定に向けた個別の架電勧奨を実施
- 検査に関する制度周知（感染対策、検査手法、診療報酬、支援制度等）の充実
- 日曜祝日にコロナ検査のため開院する医療機関に対する支援策を検討

現時点の能力	診療・検査医療機関	その他医療機関
約42,000件	約35,000件	約7,000件



確保する能力
約52,000件 ……A

**保健所等における体制** 1日当たり約4,000件……B

**検査分析体制** ⇒ 1日当たりの体制：66,800件

合計	地方衛生研究所・保健所	民間検査機関	医療機関
約66,800件	約1,700件	約11,800件	約53,300件

## 点検結果

検査需要	検体採取能力	検査分析能力
約54,600件	約56,000件 (需要+約1,400件)	約66,800件 (需要+約12,200件)

ü 今後の更なる感染拡大に備えるためにも、医療機関の能力拡充により、検査需要に対応できる体制を確保。